

先端研バリアフリーシステム研究拠点・オープンハウス
 「人間と社会に向かう福祉機器開発」

先端研のバリアフリー分野は、「学術の発展と社会の変化から生じる新たな課題へ機動的に挑戦し、人間と社会に向かう先端科学技術の新領域を開拓することによって、科学技術の発展に貢献することを目的」（先端研規則第2条）とする先端研のミッションを果たす先進成果事例として、注目されています。

近時は、バリアフリーという言葉でイメージされる「障害者支援」の概念を超えて、人間と社会の関わり方や人間存在そのものを探求することも、研究範囲に含めています。工学、リハビリテーション学、障害学、心理学、教育学、社会学といった幅広い分野の研究者を擁するだけでなく、障害のある研究者も加わることで当事者参加の総合的な研究が可能となっているのも特徴の一つです。また研究活動に留まらず、この分野の将来を担えるような専門知識を持った人材育成も重要な課題と捉え、先端学際工学専攻（博士課程）では積極的に学生を受け入れています。

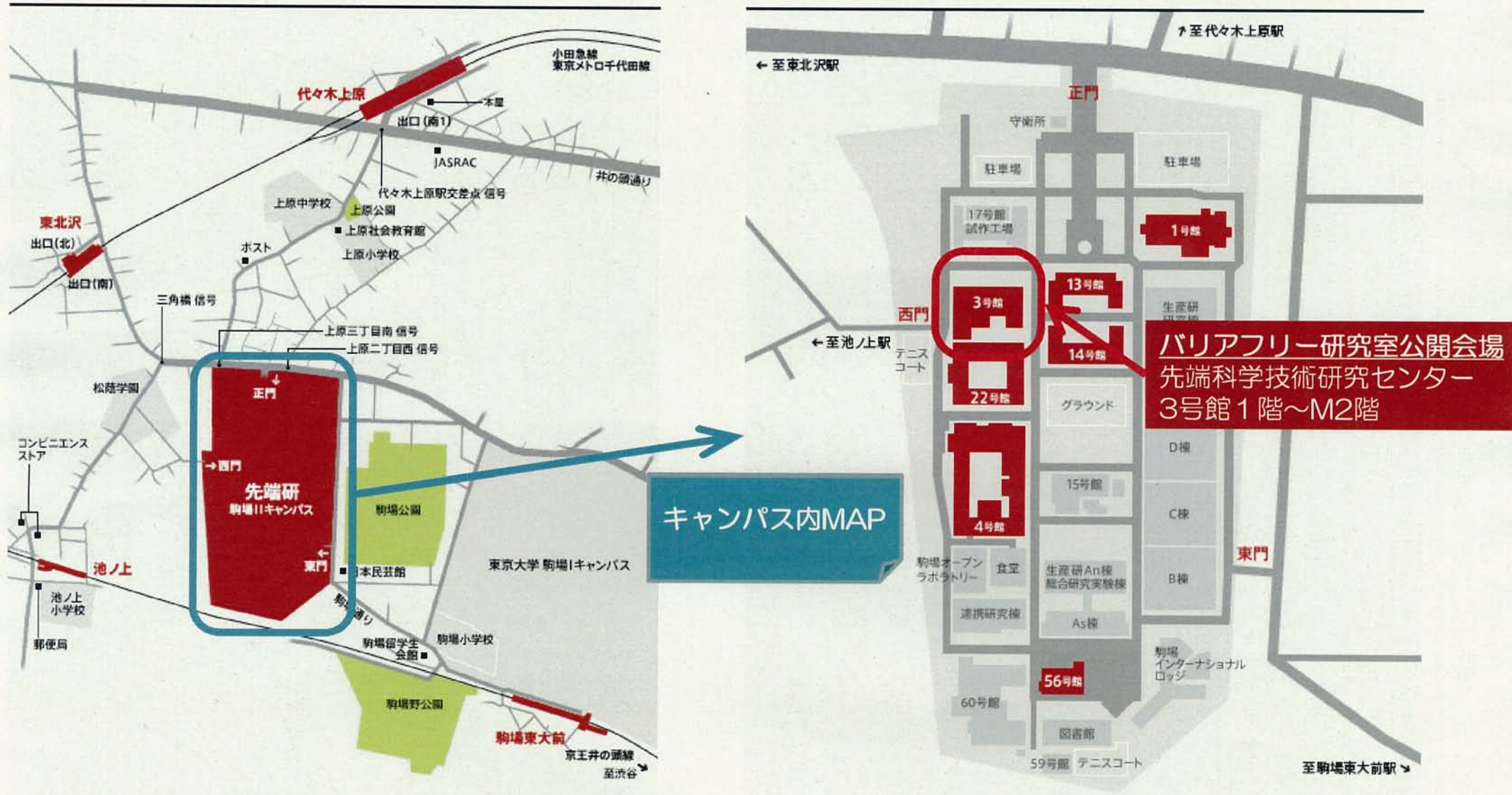
こういった私たちの取組みを広く皆様に知っていただくために別紙の通り、オープンハウスを実施します。ミニ講演会・討論会では特に福祉機器の問題を採り上げ、その現状やこれからの可能性など、「人間と社会に向かう福祉機器開発」について議論してみたいと考えています。また、実際の機器展示やデモンストラなども予定しています。研究者と気軽に懇談していただけるセッションもありますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。



記

1. 日時：2009年10月23日（金） 13：00-17：00
2. 場所：東京大学先端科学技術研究センター（目黒区駒場4-6-1）
 3号館1階エントランスホール、中2階セミナー室・ピロティ
<http://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/ja/maps/index.html>
3. プログラム：
 - [第一部] 13：00-14：50 ミニ講演会・討論会（於：セミナー室）
 - 13：00-13：10 バリアフリー分野紹介
 - 13：10-13：40 「ユーザー中心の福祉機器開発の手法」
 （人間情報工学分野特任教授 伊福部達）
 - 13：40-14：10 「変化する社会に支援技術開発者はついていけるか？」
 （人間支援工学分野教授 中邑賢龍）
 - 14：10-14：30 「開発途上国向け支援技術の提供手段」
 （支援情報システム分野准教授 巖淵守）
 - 14：30-15：00 ミニ討論会
 - [第二部] 15：10-17：00 アフタヌーンティ（於：ピロティ・エントランスホール）
 - 研究内容公開（ポスター、関連デバイス等の展示及びセッション）
 - 研究者との懇談
 - 工学系研究科先端学際工学専攻（博士課程）入試説明コーナー
4. 問合せ先：東京大学先端科学技術研究センター 中邑研究室
 Phone: 03-5452-5064
 E-mail: openlab-bfl@spo.rcast.u-tokyo.ac.jp
5. お申込み：ご参加いただける場合はお手数ですが上記問合せ先宛に、メールでご氏名・ご所属・連絡先メールアドレスをお知らせください。
 ※なお、会場の収容人数を超えた場合はお席のご用意が出来ない場合もございます。あらかじめご了承ください。

東大先端研へのアクセス & 研究室公開会場案内MAP



問い合わせ先

〒153-8904 東京都目黒区駒場4-6-1

東京大学先端科学技術研究センター 中邑研究室

Phone : 03-5452-5064

E-mail : openlab-bf1@spo.rcast.u-tokyo.ac.jp